

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	羽生市における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	羽生市												
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	739	A	739	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	羽生市地内の汚水整備率を67.7%（H27）（405.9ha）から72.7%（H31）（435.9ha）に増加させる。現計画において30haの整備を行う。			
	羽生市地内の汚水整備率 整備済面積（ha） / 事業認可面積（599.0ha）	67%	70%	72%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	管渠(汚水)	新設	羽生第2幹線・枝線整備事業	L=4,030m、工事	羽生市						739		-
											小計						739		
											合計						739		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

羽生市下水道事業審議会において事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和3年2月10日

公表の方法

告示版に掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・（指標）当初1つであった整備計画を非重点と重点の2つに分けたため、重点計画はH30・H31年度の整備としています。事後評価を行うにあたり非重点と一体評価を行いました。羽生市地内の汚水整備率が67.7%（H27末）（405.9ha）から73.2%（H31末）（439.0ha）に増加しました。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

施工延長については、羽生第2幹線・枝線整備事業は当初予定4,030m、実績値2,920mで1,110mの減になりました。減になった理由として、土地区画整理事業地内で土地の1帯利用により下水道管の布設距離が最低限で済んだためです。

特記事項（今後の方針等）

指標 については、次期整備計画により引き続き整備を進めていきます。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	72%
	最終実績値	73%
		土地区画整理事業地内で土地の一带利用により整備面積が増えた。